

標準施工仕様書

S u n フロア E 厚膜
流しのべ工法

2020年3月

エーエスペイント株式会社

事業推進部

- * 本書は「SunフロアE厚膜 流しのべ工法 標準施工要領書」であり、標準下地に施工する施工要領について適用します。標準下地とは、平滑な一般コンクリート及びモルタル下地とし、これ以外の場合は、当社までお問合せください。施工の際には本書の内容を十分に理解のもと、標準施工方法に準拠し施工してください。

目次

1. 特徴
2. 施工仕様
3. 施工上の留意点
4. 施工上の重要注意事項と予想される不具合
5. 使用材料
6. 検査
7. 安全対策

1. 特徴

SunフロアE厚膜 流しのべ工法はエポキシ樹脂を主体とした、耐薬品性、耐摩耗性、耐衝撃性にすぐれた厚膜タイプの床用塗料をこてなどで床面に塗りひろげる施工方法である。

2. 施工仕様

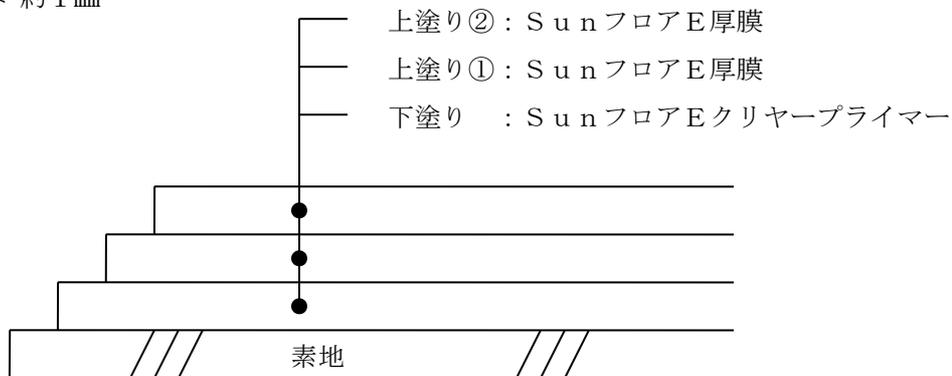
2. 1 平滑仕上げ

標準 施工日	工程	塗料名	塗り 回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装 方法
1日目	素地 調整	新設コンクリートは夏季30日以上、冬季40日以上養生させ、表面のpHが10以下、含水率が10%以下（アナログ式測定器）もしくは5%以下（デジタル式測定器）になってから施工してください。表面のレイタンスや不純物はポリッシャーなどで完全に除去してください。ひび割れ、不陸などはプライマー施工後、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填し平滑にしてください。						
	下塗り	Sunフロア Eクリヤープライマー	1	0.15~0.25	4時間以上 3日以内	—	—	中毛 ローラー
2日目	上塗り①	SunフロアE厚膜	1	0.30~0.50	10時間以上 3日以内	—	—	こて
3日目	上塗り②	SunフロアE厚膜	1	0.90~1.10	—	—	—	こて

※最終硬化養生時間：軽歩行10時間以上／23℃

※上塗り①は下地コンクリートの凹凸により使用量が増える場合がある。

厚み 約1mm



2. 2 防滑仕上げ

標準 施工日	工程	塗料名	塗り 回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装 方法
1日目	素地 調整	新設コンクリートは夏季30日以上、冬季40日以上養生させ、表面のpHが10以下、含水率が10%以下（アナログ式測定器）もしくは5%以下（デジタル式測定器）になってから施工してください。表面のレイタンスや不純物はポリッシャーなどで完全に取り除いてください。ひび割れ、不陸などはプライマー施工後、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填し平滑にしてください						
	下塗り	Sunフロア Eクリヤープライマー	1	0.15~0.25	4時間以上 3日以内	-	-	中毛 ローラー
2日目	上塗り①	SunフロアE厚膜	1	0.90~1.10	10時間以上 3日以内	-	-	こて
3日目	上塗り②	SunフロアE厚膜 + 珪砂5号 外割25%	1	0.40~0.60	-	-	-	こて +中毛ローラー

※最終硬化養生時間：軽歩行10時間以上／23℃

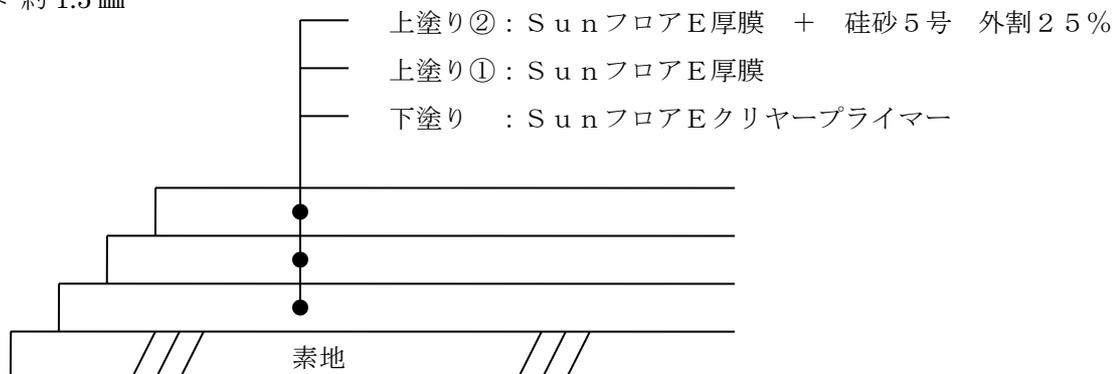
※使用量は珪砂を含んだものです。

※上塗り①は下地コンクリートの凹凸により使用量が増える場合がある。

※清掃性をよくしたい場合は、上塗り②の珪砂5号に替えて珪砂6号を同配合で使用する。

(ただし防滑性は劣る)

厚み 約 1.5 mm



3. 施工上の留意点（使用材料の配合、施工方法など）

3. 1 平滑仕上げ

3. 1. 1 素地調整

- ・新設コンクリートは夏季30日以上、冬季40日以上養生させ、表面のpHが10以下とする。
- ・素地は十分乾燥する。
含水率 10%以下（アナログ式測定器：㈱ケット科学研究所製 CH-2 型）
5%以下（デジタル式測定器：㈱ケット化学研究所製 HI-500 シリーズ）
- ・表面のレイタンス（遊離アルカリ）や不純物（油類、旧塗膜、汚れ、ぜい弱部など）はワイヤーブラシ、サンドペーパー、ポリッシャーなどで完全に取り除き、ホウキ、掃除機などにて十分清掃する。
- ・ワックスを使用している床面は付着阻害を起こすので、ワックス用はく離剤などで除去し水洗いを十分行い十分に乾燥後、塗装する。
- ・下地コンクリートに軽量コンクリートを使用しない。（軽量コンクリートは乾燥しにくくいつまでも含水率が高く膨れが発生するため）
- ・ひび割れ、不陸などはプライマー施工後、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填し平滑にする。
- ・常時水がたまる個所は傾斜をとり、排水溝を設けるなどして排水処理を行う。

3. 1. 2 下塗り

- ・SunフロアEクリヤープライマーを配合比 主剤：硬化剤＝1：1で計量後混合かくはんし、中毛ローラー、はけなどで下地にすり込むように塗付する。

（使用量 0.15～0.25 kg/m²/回）

（配合）	SunフロアEクリヤープライマー 主剤	7.5 kg	} 混合かくはん
	SunフロアEクリヤープライマー 硬化剤	7.5 kg	
	合計	15.0 kg	

〔ポットライフ：2時間/23℃〕

- ・素地の吸い込みが激しい場合は乾燥後、再度塗付する。

3. 1. 3 上塗り①

- ・前工程材料が硬化後、SunフロアE厚膜を配合比 主剤：硬化剤＝5：1で混合かくはんし、それを床面に全量流しのべて金ごてで均一に塗付する。

下地にすり込むように塗付し、ピンホールの発生を防ぐ。

（使用量 0.30～0.50 kg/m²/回）

（配合）	SunフロアE厚膜 主剤	12.5 kg	} 混合かくはん
	SunフロアE厚膜 硬化剤	2.5 kg	
	合計	15.0 kg	

〔ポットライフ：30分/23℃〕

- ・前工程材料が硬化した後に施工する。
- ・小分けして使用する場合は主剤をあらかじめかくはんして均一にし、正確に計量し混合かくはんする。(配合比がずれると硬化不良になる。)
- ・前工程施工後3日以上間隔があいた場合は研磨、清掃を行い、再度下塗りを塗付してから施工する。
- ・ピンホールがある場合はエポキシパテで処理し、凸部はケレンして平坦にする。

3. 1. 4 上塗り②

- ・SunフロアE厚膜を配合比 主剤：硬化剤＝5：1で混合かくはんし、それを床面に全量流しのべて金ごてで均一に塗付する。

(使用量 0.90～1.10 kg/m²/回)

(配合)	SunフロアE厚膜 主剤	12.5 kg	} 混合かくはん
	SunフロアE厚膜 硬化剤	2.5 kg	
	合計	15.0 kg	

[ポットライフ：30分/23℃]

- ・前工程材料が硬化した後に施工する。
- ・小分けして使用する場合は主剤をあらかじめかくはんして均一にし、正確に計量し混合かくはんする。(配合比がずれると硬化不良になる。)
- ・前工程施工後3日以上間隔があいた場合は研磨、清掃を行い、再度下塗りを塗付してから施工する。

3. 2 防滑仕上げ

3. 2. 1 素地調整

- ・新設コンクリートは夏季30日以上、冬季40日以上養生させ、表面のpHが10以下とする。
- ・素地は十分乾燥する。
含水率 10%以下 (アナログ式測定器：㈱ケット科学研究所製 CH-2型)
5%以下 (デジタル式測定器：㈱ケット化学研究所製 HI-500 シリーズ)
- ・表面のレイタンス (遊離アルカリ) や不純物 (油類、旧塗膜、汚れ、ぜい弱部など) はワイヤーブラシ、サンドペーパー、ポリッシャーなどで完全に取り除き、ホウキ、掃除機などにて十分清掃する。
- ・ワックスを使用している床面は付着阻害を起こすので、ワックス用はく離剤などで除去し水洗いを十分行い十分に乾燥後、塗装する。
- ・下地コンクリートに軽量コンクリートを使用しない。(軽量コンクリートは乾燥しにくくいつまでも含水率が高く膨れが発生するため)
- ・ひび割れ、不陸などはプライマー施工後、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填し平滑にする。
- ・常時水がたまる個所は傾斜をとり、排水溝を設けるなどして排水処理を行う。

3. 2. 2 下塗り

- ・SunフロアEクリアプライマーを配合比 主剤：硬化剤＝1：1で計量後混合かくはんし、中毛ローラー、はけなどで下地にすり込むように塗付する。

(使用量 0.15～0.25 kg/m²/回)

(配合)	SunフロアEクリアプライマー 主剤	7.5 kg	} 混合かくはん
	SunフロアEクリアプライマー 硬化剤	7.5 kg	
	合計	15.0 kg	

[ポットライフ：2時間/23℃]

- ・素地の吸い込みが激しい場合は乾燥後、再度塗付する。

3. 2. 3 上塗り①

- ・前工程材料が硬化後、SunフロアE厚膜を配合比 主剤：硬化剤＝5：1で混合かくはんし、それを床面に全量流しのべて金ごてで均一に塗付する。

(使用量 0.90～1.10 kg/m²/回)

(配合)	SunフロアE厚膜 主剤	12.5 kg	} 混合かくはん
	SunフロアE厚膜 硬化剤	2.5 kg	
	合計	15.0 kg	

[ポットライフ：30分/23℃]

- ・前工程材料が硬化した後に施工する。
- ・小分けして使用する場合は主剤をあらかじめかくはんして均一にし、正確に計量し混合かくはんする。(配合比がずれると硬化不良になる。)
- ・前工程施工後3日以上間隔があいた場合は研磨、清掃を行い、再度下塗りを塗付してから施工する。
- ・ピンホールがある場合はエポキシパテで処理し、凸部はケレンして平坦にする。

3. 2. 4 上塗り②

- ・SunフロアE厚膜を配合比 主剤：硬化剤＝5：1で混合かくはんし、それを床面に全量流しのべて金ごてで均一に塗付する。

さらに中毛ローラーにてこてむらを消しながら防滑に仕上げる。

(使用量 0.40～0.60 kg/m²/回)

(配合)	SunフロアE厚膜 主剤	12.5 kg	} 混合かくはん
	SunフロアE厚膜 硬化剤	2.5 kg	
	硅砂5号 (外割25%)	3.75 kg	
	合計	18.75 kg	

[ポットライフ：30分/23℃]

- ・使用量は硅砂を含んだものです。
- ・前工程材料が硬化した後に施工する。
- ・硅砂は乾燥したものを使用する。

- ・小分けして使用する場合は主剤をあらかじめかくはんして均一にし、正確に計量し混合かくはんする。(配合比がずれると硬化不良になる。)
- ・前工程施工後3日以上間隔があいた場合は研磨、清掃を行い、再度下塗りを塗付してから施工する。

4. 施工上の重要注意事項と予想される不具合

施工上の重要注意事項

注意事項	予想される不具合
・下塗り (SunフロアEクリヤープライマー) の吸い込みが激しい個所は再度塗付する。	はく離・膨れ
・SunフロアE厚膜硬化剤は3シーズンタイプであるため季節及び施工温度にあわせたものを使用する。 <目安> W型 (冬用) 5℃～10℃ M型 (春秋用) 10℃～20℃ S型 (夏用) 20℃～35℃	仕上がり不良 作業性が悪い
・直射日光があたらないよう日覆いをする。	仕上がり不良
・SunフロアE厚膜の塗り継ぎ (ラップ部) は15分以内とする。	色むら
・SunフロアE厚膜は製造ロットを合せて施工する。	色違いの発生
・SunフロアE厚膜施工時は、窓・扉などの開口部は閉める。	仕上がり不良 (ほこりによるはじき)
・2液形塗料は規定配合にて混合かくはんを行なう。	硬化不良
・SunフロアE厚膜は、主剤と硬化剤を混合かくはんしたものは直ちに床に流す。	缶内で発熱 硬化する
・主剤、硬化剤を取り扱う時は、保護具を必ず着用する。皮膚に付着した時には、多量の水で洗い落とした後、中性せっけんと水で十分に洗う。	かぶれ・水膨れ
冬期施工時の注意事項	予想される不具合
・気温5℃以下では施工しない。	仕上がり不良
・シンナーの添加は硬度不足や物性低下となる。冬期で粘度が高い時には、SunフロアEシンナーにて3%希釈を限度とする。	硬度不足 物性低下 汚れ付着
施工場所の加温は、熱風ヒーターなどを使用して雰囲気温度を5～15℃にし以下の点に注意する。 ・室温の急激な加温により、下地温度との温度差が生じ床面に結露が発生する。下地温度を上げ結露を防ぐようにする。 ・熱風および燃焼ガスを硬化前の塗膜表面に直接あたらないようにする。	仕上がり不良
・低温条件 (10℃以下) では、エポキシ樹脂の反応性が大幅に低下し、水分と反応し白化する場合がある。硬化養生中に床温が露点以下になると予想される場合は塗装しない。	仕上がり不良

5. 使用材料

5. 1 荷姿

材料名	容量／荷姿	系統
S u nフロアEクリアプライマー 主剤	7. 5 kg／半切缶	溶剤2液形エポキシ樹脂床用下塗り塗料
硬化剤	7. 5 kg／半切缶	
S u nフロアE厚膜 主剤	1 2. 5 kg／石油缶	厚膜2液形エポキシ樹脂床用塗料
硬化剤	2. 5 kg／角缶	
珪砂5号	3 0 kg／袋入り	骨材（現地調達）
S u nフロアEシンナー	1 6 L／石油缶	S u nフロアE希釈剤

5. 2 消防法表示

材料名	危険物区分	指定数量
S u nフロアEクリアプライマー 主剤	第4類 第1石油類（非水溶性）	2 0 0 <small>リットル</small>
硬化剤	第4類 第1石油類（非水溶性）	
S u nフロアE厚膜 主剤	第4類 第3石油類（非水溶性）	2, 0 0 0 <small>リットル</small>
硬化剤	第4類 第3石油類（非水溶性）	
S u nフロアEシンナー	第4類 第1石油類（非水溶性）	2 0 0 <small>リットル</small>

6. 検査

塗装工事完了後、施工箇所を全面検査（自主）する。

- ・樹脂の硬化不良の無いこと。
- ・膨れ、はく離などの外観異状の無いこと。
- ・塗膜が薄く、下地が露出していないこと。
- ・塗り残しが無いこと。
- ・施工部分以外に、塗料などが付着して汚していないこと。
- ・工事完了後、関連工事が行なわれた場合は、工事完了後、塗装面が破損していないかチェックする。
- ・検査時に異状を認めた場合、監督者に報告の上、直ちに補修工事を行う。

7. 安全対策

- ・塗料の保管場所および配合場所では絶対にタバコなど火気は使用せず、さらに作業中も絶対にタバコなどは喫煙しない。
- ・消火器の設置
粉末炭酸ガス消火器（ABC消火器）を作業場に設置する。
- ・作業者は安全帽を着用する。
- ・単独作業は行わず、作業前後は必ず責任者に報告する。
- ・表示
“作業中” 
“通行止” の表示をする。
- ・その他
塗料の保管場所は冷暗所または火気のない風通しのよい日陰などとする。
作業場には必要以上の塗料は持ち込まない。
肌に塗料、硬化剤が付着した場合は十分水洗いし、必要に応じて手当とする。
その他、危険と思われる行為は責任者と相談の上決定する。
- ・製品の安全に関する詳細な内容は、安全データシート（SDS）をご参照ください。

以上

標準施工仕様書

S u n フロア E 厚膜
ペースト工法

2020年3月

エーエスペイント株式会社

事業推進部

* 本書は「SunフロアE厚膜 ペースト工法 標準施工要領書」であり、標準下地に施工する施工要領について適用します。標準下地とは、平滑な一般コンクリート及びモルタル下地とし、これ以外の場合は、当社までお問合せください。施工の際には本書の内容を十分に理解のもと、標準施工方法に準拠し施工してください。

目次

1. 特徴
2. 施工仕様
3. 施工上の留意点
4. 施工上の重要注意事項と予想される不具合
5. 使用材料
6. 検査
7. 安全対策

1. 特徴

SunフロアE厚膜 ペースト工法はエポキシ樹脂を主体とした、耐薬品性、耐摩耗性、耐衝撃性にすぐれた厚膜タイプの床用塗料に硅砂を混合し、ペースト状にした塗材をこてなどで床面に塗りひろげて厚膜に施工する施工方法である。

2. 施工仕様

2. 1 平滑仕上げ

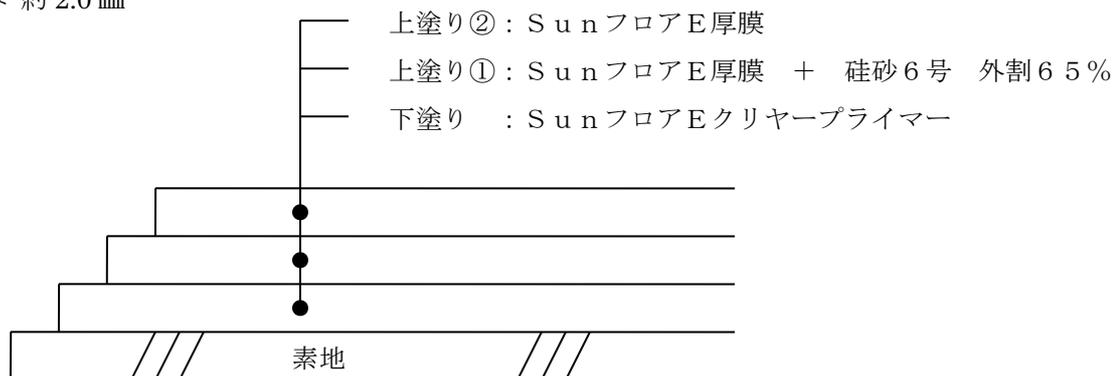
標準 施工日	工程	塗料名	塗り 回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装 方法
1日目	素地 調整	新設コンクリートは夏季30日以上、冬季40日以上養生させ、表面のpHが10以下、含水率が10%以下（アナログ式測定器）もしくは5%以下（デジタル式測定器）になってから施工してください。表面のレイタンスや不純物はポリッシャーなどで完全に除去してください。ひび割れ、不陸などはプライマー施工後、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填し平滑にしてください。						
	下塗り	Sunフロア Eクリアープライマー	1	0.15~0.25	4時間以上 3日以内	—	—	中毛 ローラー
2日目	上塗り①	SunフロアE厚膜 + 硅砂6号 外割65%	1	1.50~1.80	10時間以上 3日以内	—	—	こて
3日目	上塗り②	SunフロアE厚膜	1	0.90~1.10	—	—	—	こて

※最終硬化養生時間：軽歩行10時間以上／23℃

※使用量は硅砂を含んだものです。

※上塗り①は下地コンクリートの凹凸により使用量が増える場合がある。

厚み 約 2.0 mm



2. 2 防滑仕上げ

標準 施工日	工程	塗料名	塗り 回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装 方法
1日目	素地 調整	新設コンクリートは夏季30日以上、冬季40日以上養生させ、表面のpHが10以下、含水率が10%以下（アナログ式測定器）もしくは5%以下（デジタル式測定器）になってから施工してください。表面のレイタンスや不純物はポリッシャーなどで完全に取り除いてください。ひび割れ、不陸などはプライマー施工後、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填し平滑にしてください						
	下塗り	Sunフロア Eクリヤープライマー	1	0.15~0.25	4時間以上 3日以内	—	—	中毛 ローラー
2日目	上塗り①	SunフロアE厚膜 + 硅砂5号 外割100%	1	2.90~3.10	10時間以上 3日以内	—	—	こて
3日目	上塗り②	SunフロアE厚膜 + 硅砂5号 外割25%	1	0.40~0.60	—	—	—	こて +中毛ローラー

※最終硬化養生時間：軽歩行10時間以上／23℃

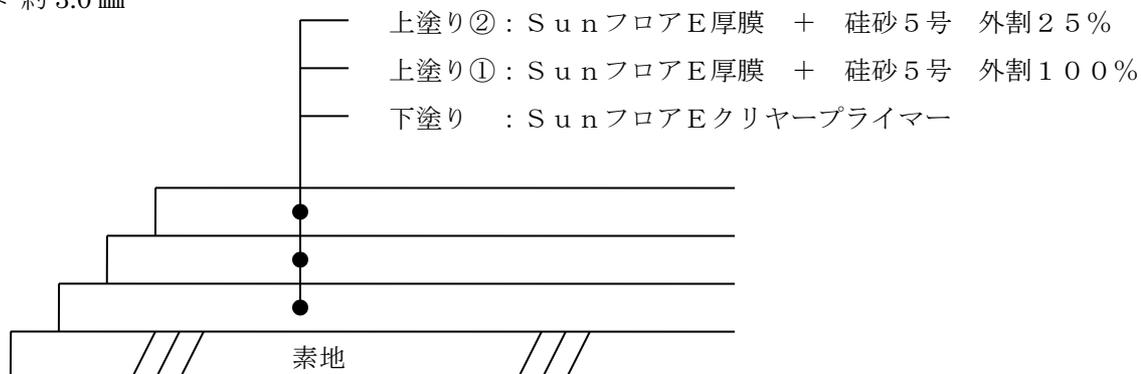
※使用量は硅砂を含んだものです。

※上塗り①は下地コンクリートの凹凸により使用量が増える場合がある。

※清掃性をよくしたい場合は、上塗り②の硅砂5号に替えて硅砂6号を同配合で使用する。

（ただし防滑性は劣る）

厚み 約 3.0 mm



3. 施工上の留意点（使用材料の配合、施工方法など）

3. 1 平滑仕上げ

3. 1. 1 素地調整

- ・新設コンクリートは夏季30日以上、冬季40日以上養生させ、表面のpHが10以下とする。
- ・素地は十分乾燥する。
含水率 10%以下（アナログ式測定器：㈱ケット科学研究所製 CH-2 型）
5%以下（デジタル式測定器：㈱ケット化学研究所製 HI-500 シリーズ）
- ・表面のレイタンス（遊離アルカリ）や不純物（油類、旧塗膜、汚れ、脆弱部など）はワイヤーブラシ、サンドペーパー、ポリッシャーなどで完全に除去し、ホウキ、掃除機などにて十分清掃する。
- ・ワックスを使用している床面は付着阻害を起こすので、ワックス用はく離剤などで除去し水洗いを十分行い十分に乾燥後、塗装する。
- ・下地コンクリートに軽量コンクリートを使用しない。（軽量コンクリートは乾燥しにくくいつまでも含水率が高く膨れが発生するため）
- ・ひび割れ、不陸などはプライマー施工後、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填し平滑にする。
- ・常時水がたまる箇所は傾斜をとり、排水溝を設けるなどして排水処理を行う。

3. 1. 2 下塗り

- ・SunフロアEクリヤープライマーを配合比 主剤：硬化剤＝1：1で計量後混合かくはんし、中毛ローラー、はけなどで下地にすり込むように塗付する。

（使用量 0.15～0.25 kg/m²/回）

（配合）	SunフロアEクリヤープライマー 主剤	7.5 kg	} 混合かくはん
	SunフロアEクリヤープライマー 硬化剤	7.5 kg	
	合計	15.0 kg	

〔ポットライフ：2時間/23℃〕

- ・素地の吸い込みが激しい場合は乾燥後、再度塗付する。

3. 1. 3 上塗り①

- ・前工程材料が硬化後、SunフロアE厚膜を配合比 主剤：硬化剤＝5：1で混合かくはんし、それを床面に全量流しのべて金ごてで均一に塗付する。

下地にすり込むように塗付し、ピンホールの発生を防ぐ。

（使用量 1.50～1.80 kg/m²/回）

（配合）	SunフロアE厚膜 主剤	12.5 kg	} } 混合かくはん
	SunフロアE厚膜 硬化剤	2.5 kg	
	硅砂6号（外割65%）	9.75 kg	
	合計	24.75 kg	

[ポットライフ：30分/23℃]

- ・使用量は硅砂を含んだものです。
- ・前工程材料が硬化した後に施工する。
- ・小分けして使用する場合は主剤をあらかじめかくはんして均一にし、正確に計量し混合かくはんする。(配合比がずれると硬化不良になる。)
- ・前工程施工後3日以上間隔があいた場合は研磨、清掃を行い、再度下塗りを塗付してから施工する。
- ・下地調整と厚みをもたらす目的で、金ごてにてていねいに塗付する。
- ・硅砂の混合量は気温により調整する
- ・こてむらの生じないようにすみやかに施工する。
- ・ピンホールがある場合はエポキシパテで処理し、凸部はケレンして平坦にする。

3. 1. 4 上塗り②

- ・SunフロアE厚膜を配合比 主剤：硬化剤＝5：1で混合かくはんし、それを床面に全量流しのべて金ごてで均一に塗付する。

(使用量 0.90～1.10 kg/m²/回)

(配合)	SunフロアE厚膜 主剤	12.5 kg	} 混合かくはん
	SunフロアE厚膜 硬化剤	2.5 kg	
	合計	15.0 kg	

[ポットライフ：30分/23℃]

- ・前工程材料が硬化した後に施工する。
- ・小分けして使用する場合は主剤をあらかじめかくはんして均一にし、正確に計量し混合かくはんする。(配合比がずれると硬化不良になる。)
- ・前工程施工後3日以上間隔があいた場合は研磨、清掃を行い、再度下塗りを塗付してから施工する。

3. 2 防滑仕上げ

3. 2. 1 素地調整

- ・新設コンクリートは夏季30日以上、冬季40日以上養生させ、表面のpHが10以下とする。
- ・素地は十分乾燥する。
含水率 10%以下（アナログ式測定器：㈱ケット科学研究所製 CH-2 型）
5%以下（デジタル式測定器：㈱ケット化学研究所製 HI-500 シリーズ）
- ・表面のレイタンス（遊離アルカリ）や不純物（油類、旧塗膜、汚れ、ぜい弱部など）はワイヤーブラシ、サンドペーパー、ポリッシャーなどで完全に取り除き、ホウキ、掃除機などにて十分清掃する。
- ・ワックスを使用している床面は付着阻害を起こすので、ワックス用はく離剤などで除去し水洗いを十分行い十分に乾燥後、塗装する。
- ・下地コンクリートに軽量コンクリートを使用しない。（軽量コンクリートは乾燥しにくくいつまでも含水率が高く膨れが発生するため）
- ・ひび割れ、不陸などはプライマー施工後、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填し平滑にする。
- ・常時水がたまる個所は傾斜をとり、排水溝を設けるなどして排水処理を行う。

3. 2. 2 下塗り

- ・SunフロアEクリアプライマーを配合比 主剤：硬化剤＝1：1で計量後混合かくはんし、中毛ローラー、はけなどで下地にすり込むように塗付する。

（使用量 0.15～0.25 kg/m²/回）

（配合）	SunフロアEクリアプライマー 主剤	7.5 kg	} 混合かくはん
	SunフロアEクリアプライマー 硬化剤	7.5 kg	
	合計	15.0 kg	

〔ポットライフ：2時間／23℃〕

- ・素地の吸い込みが激しい場合は乾燥後、再度塗付する。

3. 2. 3 上塗り①

- ・前工程材料が硬化後、SunフロアE厚膜を配合比 主剤：硬化剤＝5：1で混合かくはんし、それを床面に全量流しのべて金ごてで均一に塗付する。

（使用量 2.90～3.10 kg/m²/回）

（配合）	SunフロアE厚膜 主剤	12.5 kg	} } 混合かくはん
	SunフロアE厚膜 硬化剤	2.5 kg	
	硅砂5号（外割100%）	15.0 kg	
	合計	30.0 kg	

〔ポットライフ：30分／23℃〕

- ・使用量は硅砂を含んだものです。

- ・前工程材料が硬化した後に施工する。
- ・小分けして使用する場合は主剤をあらかじめかくはんして均一にし、正確に計量し混合かくはんする。(配合比がずれると硬化不良になる。)
- ・前工程施工後3日以上間隔があいた場合は研磨、清掃を行い、再度下塗りを塗付してから施工する。
- ・珪砂の混合量は気温により調整する。
- ・こてむらの生じないようにすみやかに施工する。
- ・ピンホールがある場合はエポキシパテで処理し、凸部はケレンして平坦にする。

3. 2. 4 上塗り②

- ・SunフロアE厚膜を配合比 主剤：硬化剤＝5：1で混合かくはんし、それを床面に全量流しのべて金ごてで均一に塗付する。

さらに中毛ローラーにてこてむらを消しながら防滑に仕上げる。

(使用量 0.40～0.60 kg/m²/回)

(配合)	SunフロアE厚膜 主剤	12.5 kg	} } 混合かくはん
	SunフロアE厚膜 硬化剤	2.5 kg	
	珪砂5号 (外割25%)	3.75 kg	
	合計	18.75 kg	

[ポットライフ：30分/23℃]

- ・前工程材料が硬化した後に施工する。
- ・珪砂は乾燥したものを使用する。
- ・小分けして使用する場合は主剤をあらかじめかくはんして均一にし、正確に計量し混合かくはんする。(配合比がずれると硬化不良になる。)
- ・前工程施工後3日以上間隔があいた場合は研磨、清掃を行い、再度下塗りを塗付してから施工する。

4. 施工上の重要注意事項と予想される不具合

施工上の重要注意事項

注意事項	予想される不具合
・下塗り（SunフロアEクリヤープライマー）の吸い込みが激しい個所は再度塗付する。	はく離・膨れ
・SunフロアE厚膜硬化剤は3シーズンタイプであるため季節及び施工温度にあわせたものを使用する。 <目安> W型（冬用） 5℃～10℃ M型（春秋用） 10℃～20℃ S型（夏用） 20℃～35℃	仕上がり不良 作業性が悪い
・直射日光があたらないよう日覆いをする。	仕上がり不良
・SunフロアE厚膜の塗り継ぎ（ラップ部）は15分以内とする。	色むら
・SunフロアE厚膜は製造ロットを合せて施工する。	色違いの発生
・SunフロアE厚膜施工時は、窓・扉などの開口部は閉める。	仕上がり不良 (ほこりによるはじき)
・2液形塗料は規定配合にて混合かくはんを行なう。	硬化不良
・SunフロアE厚膜は、主剤と硬化剤を混合かくはんしたものは直ちに床に流す。	缶内で発熱 硬化する
・主剤、硬化剤を取り扱う時は、保護具を必ず着用する。皮膚に付着した時には、多量の水で洗い落とした後、中性せっけんと水で十分に洗う。	かぶれ・水膨れ
冬期施工時の注意事項	予想される不具合
・気温5℃以下では施工しない。	仕上がり不良
・シンナーの添加は硬度不足や物性低下となる。冬期で粘度が高い時には、SunフロアEシンナーにて3%希釈を限度とする。	硬度不足 物性低下 汚れ付着
施工場所の加温は、熱風ヒーターなどを使用して雰囲気温度を5～15℃にし以下の点に注意する。 ・室温の急激な加温により、下地温度との温度差が生じ床面に結露が発生する。下地温度を上げ結露を防ぐようにする。 ・熱風および燃焼ガスを硬化前の塗膜表面に直接あたらないようにする。	仕上がり不良
・低温条件（10℃以下）では、エポキシ樹脂の反応性が大幅に低下し、水分と反応し白化する場合がある。硬化養生中に床温が露点以下になると予想される場合は塗装しない。	仕上がり不良

5. 使用材料

5. 1 荷姿

材料名	容量／荷姿	系統
SunフロアEクリアプライマー 主剤 硬化剤	7. 5 kg／半切缶 7. 5 kg／半切缶	溶剤2液形エポキシ樹脂床用下塗り塗料
SunフロアE厚膜 主剤 硬化剤	12. 5 kg／石油缶 2. 5 kg／角缶	厚膜2液形エポキシ樹脂床用塗料
珪砂5号 珪砂6号	30 kg／袋入り	骨材（現地調達）
SunフロアEシンナー	16 L／石油缶	SunフロアE希釈剤

5. 2 消防法表示

材料名	危険物区分	指定数量
SunフロアEクリアプライマー 主剤 硬化剤	第4類 第1石油類（非水溶性） 第4類 第1石油類（非水溶性）	200 ^{リットル}
SunフロアE厚膜 主剤 硬化剤	第4類 第3石油類（非水溶性） 第4類 第3石油類（非水溶性）	2,000 ^{リットル}
SunフロアEシンナー	第4類 第1石油類（非水溶性）	200 ^{リットル}

6. 検査

塗装工事完了後、施工箇所を全面検査（自主）する。

- ・樹脂の硬化不良の無いこと。
- ・膨れ、はく離などの外観異状の無いこと。
- ・塗膜が薄く、下地が露出していないこと。
- ・塗り残しが無いこと。
- ・施工部分以外に、塗料などが付着して汚していないこと。
- ・工事完了後、関連工事が行なわれた場合は、工事完了後、塗装面が破損していないかチェックする。
- ・検査時に異状を認めた場合、監督者に報告の上、直ちに補修工事を行う。

7. 安全対策

- ・塗料の保管場所および配合場所では絶対にタバコなど火気は使用せず、さらに作業中も絶対にタバコなどは喫煙しない。
- ・消火器の設置
粉末炭酸ガス消火器（ABC消火器）を作業場に設置する。
- ・作業者は安全帽を着用する。
- ・単独作業は行わず、作業前後は必ず責任者に報告する。
- ・表示
“作業中” 
“通行止”  の表示をする。
- ・その他
塗料の保管場所は冷暗所または火気のない風通しのよい日陰などとする。
作業場には必要以上の塗料は持ち込まない。
肌に塗料、硬化剤が付着した場合は十分水洗いし、必要に応じて手当とする。
その他、危険と思われる行為は責任者と相談の上決定する。
- ・製品の安全に関する詳細な内容は、安全データシート（SDS）をご参照ください。

以上